

サポートツール全国キャラバン2011「教材教具研修会」in横浜
**発達障害がある子ども一人ひとりのニーズに応じた
指導・支援の具体的方法**

日 時：2012年2月5日（日）9：30～16：40（9：15受付）

会 場：横浜市開港記念会館 〒231-0005 横浜市中区本町1-6

定 員：110名

参加費：900円（全国LD親の会会員は500円）

申込先：E-MAIL ir5s-fkd@asahi-net.or.jp

TEL/FAX 045-391-1783 福田

参加ご希望の方は、①氏名（ふりがな）②電話番号 ③区分 をすべて明記し、

「教材教具研修会申し込み」と件名を入れ、お申し込みください。

区分は、全国LD親の会会員・一般（非会員）です。

一般（非会員）の方は、所属を記入してください。

代表で数名申し込まれる場合、参加希望者全員の氏名・区分の記入をお願いいたします。

締 切：2012年 1月 22日（日）

先着順受付で定員になり次第締め切ります。お断りする場合のみご連絡いたします。

特別支援教育が法律に基づいて本格的に実施されてから3年が経過し、LD等の発達障害がある子ども一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の具体的方法が求められています。LD等発達障害がある子どもの特性は一人ひとり異なり、抱えている困難さも様々であり、学び方も違います。こういった発達障害のある子どもたちに対し、教材をうまく利用して指導効果をあげている実践事例も数多く報告されてきましたが、目の前の子どもに有効な指導法としてそのまま利用できる例は少ないのが現実ではないでしょうか。

全国LD親の会では、文部科学省からの受託研究として、2006年度から2年間にわたり、発達障害児向けの教材・教具についてのデータを収集し、発達障害のある子ども達が持つ困難を体系的に分類して整理し、具体的に実証をしめして、「サポートツール・データベース」としてまとめました。

発達障害児のためのサポートツール・データベース(教材・教具DB)

<http://www.jpald.net/research/index.html>さらに昨年度より、「子どもの成長を見据えた長期的な視野にたったサポート」「子どもを中心に、関係する多方面における専門家と連携したサポート」という趣旨のもと、教育現場における教材・教具のみならず、就労・自立を見据えた支援に繋がる子どもの生活全般にわたるサポートも含めて、個別の指導計画作成の参考となるよう、身近な教材・教具の具体的サポート例を提示する研修会を全国数か所で順次開催しています。

講演とワークショップを通じて、教育現場での指導の工夫のみならず、子どもの姿勢保持や身体の使い方なども含め、具体的なサポート例をともに学んでいきたいと思っております。多くの方のご来場をお待ちしています。

プログラム

9 : 15 開場

9 : 30 開会挨拶・研修会の概要説明

9 : 45 講演1

「発達障害のある子どもの特性に沿ったサポートと教材の活用」 ～使い方で変わる教材の有効性～

講師 山田 充 氏 (特別支援教育士スーパーバイザー)

堺市立日置荘小学校通級指導教室教諭・堺市特別支援教育専門家チーム・
堺LD研究会・「コミ☆トレ」番組委員

11 : 30 昼休憩

12 : 30 講演2

「作業の工夫で子ども達を元気に！」 ～作業療法士が提案する教材教具と支援方法～

講師 辻 薫 氏

(大阪府作業療法士会発達部門代表・日本作業療法士協会認定作業療法士・
大阪発達総合療育センターリハビリテーション部・
大阪市教育委員会特別支援教育専門家チーム)

14 : 00 休憩

14 : 15 ワークショップ 「子どもの解答用紙から何を読み取るか？」

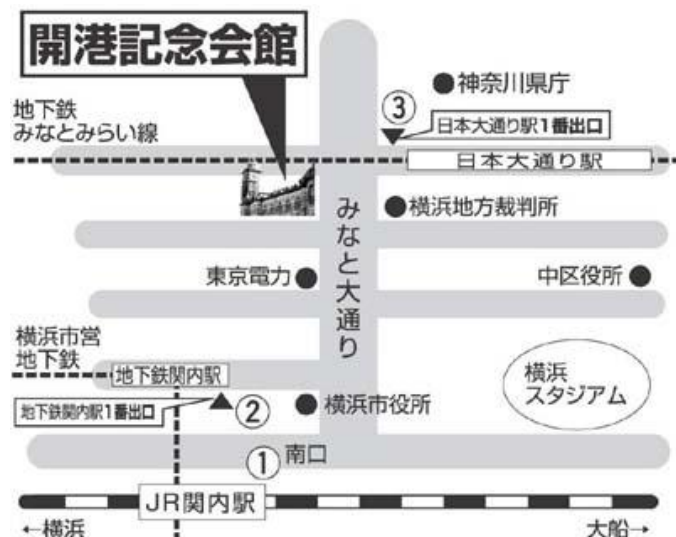
16 : 30 質疑応答

16 : 40 閉会挨拶

主催 : 特定非営利活動法人全国LD親の会

共催 : 神奈川LD等発達障害児・者親の会
「にじの会」

後援 : 神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会
一般社団法人日本LD学会
社団法人日本作業療法士協会
一般社団法人神奈川県作業療法士会
日本感覚統合学会



JPA LD NPO 全国LD親の会
法人

NPO法人全国LD親の会・事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5 バロール代々木415
TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL : jimukyoku@jpald.net URL : <http://www.jpald.net/>